平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月14日

上 場 会 社 名	株式会社NowLoading	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	2447	URL	http://www.nowloading.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役	(氏名)中川　哲也	
問合せ先責任者	(役職名)取締役	(氏名)青木　一洋	(TEL)03(6419)7165
四半期報告書提出予定日	平成24年８月14日	配当支払開始予定日	ー

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	56	213.1	6	－	7	－	7	－
24年３月期第１四半期	17	△56.5	△57	－	△55	－	△57	－

（注）　包括利益　25年３月期第１四半期　7百万円(－%)　24年３月期第１四半期　△57百万円(－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第１四半期	364　39	361　69
24年３月期第１四半期	△2,710　77	－　－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	63	△34	△54.8
24年３月期	47	△42	△88.5

（参考）　自己資本　25年３月期第１四半期　△34百万円　24年３月期　△42百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	－　－	0　00	－　－	0　00	0　00
25年３月期	－　－				
25年３月期(予想)		0　00	－　－	0　00	0　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	152	585.0	△27	－	△23	－	△24	－	△1,170　78
通期	383	893.1	△39	－	△35	－	△36	－	△1,736　27

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	21,291株	24年３月期	21,291株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	130株	24年３月期	130株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	21,161株	24年３月期１Ｑ	21,161株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（６）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要により緩やかに回復しているものの、欧州債務危機問題やそれを背景とした中国など新興国の景気減速懸念、円高等、先行き不透明な状況で推移しております。

このような経済環境の中、当社グループは顧客企業の事業収益を支援するセールスプロデュース事業を積極的に推進してまいりました。セールスプロデュース事業では、中国における時計及びブランド品等の物販プロデュース事業により売上が増加しております。また、モバイルコンテンツのプロデュース事業については、原価等の削減により既存サイトにおける収益率の向上を図りつつ、またスマートフォン市場での新規サイトの立ち上げを積極的に行っております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間は、売上高56,012千円（対前年同四半期比213.1％増）、営業利益6,537千円（前年同四半期営業損失57,118千円）、経常利益7,873千円（前年同四半期経常損失55,896千円）、四半期純利益7,710千円（前年同四半期純損失57,362千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度と比較して15,357千円増加し、63,197千円（対前連結会計年度比32.1％増）となりました。

流動資産に関しましては、前連結会計年度と比較して、現金及び預金が減少したものの、商品、前払費用が増加したことにより58,708千円（対前連結会計年度比37.1％増）となりました。

固定資産に関しましては、前連結会計年度と比較して建物、長期貸付金が減少したことにより、4,489千円（対前連結会計年度比10.4％減）となりました。

負債に関しましては、未払法人税等、未払消費税等が減少したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金、未払金、未払費用が増加したため97,802千円（対前連結会計年度比8.5％増）となりました。

また純資産に関しましては、四半期純利益7,710千円を計上したものの、△34,604千円（前連結会計年度△42,315千円）の債務超過となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月15日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他会社の経営に重要な影響を及ぼす事象が存在しております。

当社グループは、当第１四半期連結累計期間において7,710千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度に引き続き△34,604千円の債務超過になっております。

当社は、当該状況を解消すべく、以下の施策を実施してまいります。

① 継続的な売上確保及び利益率の向上

当社グループのセールスプロデュース事業については、前連結会計年度から引き続き、中国及びロシアでの海外事業の立ち上げを積極的に推進し、継続的な売上確保及び利益率の向上を図ってまいります。具体的な施策としては、中国における時計及びブランド品等の物販プロデュース事業を確立させ、安定的、継続的な収益の確保を目指します。また、モバイルコンテンツのプロデュース事業に関しては、既存モバイルサイトの人的コストを削減し広告宣伝費等を注入することにより、収益の増加を目指します。

② 資金調達の実施及び財務基盤の安定

当社グループは、債務超過を解消し財務基盤の安定を図るため、第三者割当増資の方法を含めた資金調達を検討しております。具体的な内容及び時期に関しては、資金調達先との関連性を考慮したうえで決定し、出来る限り早期に実施する予定であります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,769	2,579
受取手形及び売掛金	4,306	7,367
商品	0	28,288
貯蔵品	449	440
前払費用	―	13,809
短期貸付金	829	1,335
未収還付法人税等	19,469	―
未収入金	4,038	2,223
その他	3,187	3,720
貸倒引当金	△223	△1,057
流動資産合計	42,828	58,708
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,935	1,935
減価償却累計額	△564	△806
建物（純額）	1,370	1,129
工具、器具及び備品	6,666	6,666
減価償却累計額	△6,167	△6,167
減損損失累計額	△499	△499
工具、器具及び備品（純額）	―	―
有形固定資産合計	1,370	1,129
無形固定資産		
その他	114	114
無形固定資産合計	114	114
投資その他の資産		
投資有価証券	1,738	1,738
長期貸付金	10,132	9,921
敷金	732	732
破産更生債権等	197,685	198,817
その他	417	348
貸倒引当金	△207,179	△208,311
投資その他の資産合計	3,526	3,246
固定資産合計	5,011	4,489
資産合計	47,840	63,197

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,143	8,914
短期借入金	2,300	3,300
未払金	33,506	36,388
未払費用	20,451	25,506
未払法人税等	3,164	2,412
未払消費税等	4,511	3,588
預り金	7,313	7,402
流動負債合計	78,391	87,512
固定負債		
資産除去債務	1,935	1,935
負ののれん	9,828	8,354
固定負債合計	11,764	10,289
負債合計	90,155	97,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	40,000
利益剰余金	△55,025	△47,314
自己株式	△27,290	△27,290
株主資本合計	△42,315	△34,604
純資産合計	△42,315	△34,604
負債純資産合計	47,840	63,197

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	17,889	56,012
売上原価	13,183	19,231
売上総利益	4,706	36,781
販売費及び一般管理費	61,824	30,243
営業利益又は営業損失（△）	△57,118	6,537
営業外収益		
受取利息	22	10
負ののれん償却額	1,474	1,474
その他	4	100
営業外収益合計	1,502	1,585
営業外費用		
支払利息	－	16
貸倒引当金繰入額	－	118
その他	280	115
営業外費用合計	280	249
経常利益又は経常損失（△）	△55,896	7,873
特別利益		
その他	376	－
特別利益合計	376	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△55,519	7,873
法人税、住民税及び事業税	355	162
法人税等調整額	1,488	－
法人税等合計	1,843	162
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△57,362	7,710
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△57,362	7,710

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△57,362	7,710
四半期包括利益	△57,362	7,710
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,362	7,710
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

当社グループは、当第１四半期連結累計期間において7,710千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度に引き続き△34,604千円の債務超過になっております。

これにより、前連結会計年度に引き続き、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

四半期連結財務諸表提出会社である当社は、当該状況を解消すべく、以下の施策を実施してまいります。

１．継続的な売上確保及び利益率の向上

当社グループのセールスプロデュース事業については、前連結会計年度から引き続き、中国及びロシアでの海外事業の立ち上げを積極的に推進し、継続的な売上確保及び利益率の向上を図ってまいります。具体的な施策としては、中国における時計及びブランド品等の物販プロデュース事業を確立させ、安定的、継続的な収益の確保を目指します。また、モバイルコンテンツのプロデュース事業に関しては、既存モバイルサイトの人的コストを削減し広告宣伝費等を注入することにより、収益の増加を目指します。

２．資金調達の実施及び財務基盤の安定

当社グループは、債務超過を解消し財務基盤の安定を図るため、第三者割当増資の方法を含めた資金調達を検討しております。具体的な内容及び時期に関しては、資金調達先との関連性を考慮したうえで決定し、出来る限り早期に実施する予定であります。

しかしながら、上記の対応策は実施途上にあるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社及び連結子会社の事業は、セールスプロデュース業の単一セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社及び連結子会社の事業は、セールスプロデュース業の単一セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社及び連結子会社の事業は、セールスプロデュース業の単一セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社及び連結子会社の事業は、セールスプロデュース業の単一セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。